



えいなん

卒業式を終えて



3月19日（金）、とても暖かな晴天のもと、第63回卒業式を行いました。力強く返事をし、堂々とした態度で臨んだ卒業証書授与、心を合わせて歌った栄南小学校校歌、感謝の気持ちを込めた別れの言葉。厳粛な中にも、温かく柔らかい空気に包まれた、素敵なお卒業式となりました。

この1年、今まで通りにできないことの連続でした。小学校生活の最後の大切な年に、6年生の子供たちが抱えたストレスは、計り知れないものだったろうと感じております。保護者の皆様にも、ご心配ご迷惑をおかけしました。そんな厳しい状況下においても、決してあきらめず、仲間とともに笑顔で乗り越えていく6年生の子供たちの姿は、下級生たちの見本となりました。そして、子供たちの柔軟な発想とみなぎるパワーに、自分自身が勇気づけられ、たくさんのエネルギーをもらいました。卒業生の輝かしい未来に、幸多かれと祈ります。

卒業式の総練習に落ち着いた態度で参加した5年生。前日準備では、任された箇所を熱心に清掃に取り組む姿に、頼もしさを感じました。きっと4月から、最上級生として栄南小学校をリードしてくれることと思います。期待しています。

1年間 ありがとうございました

令和2年度が、本日の修了式で終わりです。4月7日の始業式に「当たり前で生きていくことが当たり前でなくなり、学校生活においても、今までのとおりではなくて、工夫をしなくてはならない場面も出てきます。自分で考えて行動できる子になってほしいと願います」と放送で話をした後、2か月間の学校休業が余儀なくされました。

各教室には新しい生活様式を示した「コロナに負けるな栄南っ子」が貼ってあります。その言葉のとおり、この10か月で子供たちは、自分たちで考え、行動し、様々な委員会活動などにおいて、高学年児童が率先して、知恵を出し合って工夫し、楽しんで栄南小学校をつくっていく姿を見せられたことが、学校全体に良い影響を与えてくれました。子供たちの成長が、我々教職員の糧となりました。

保護者の皆様・地域の皆様から、温かいご理解と心強いご支援をいただき、この1年を終えることができました。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。『大変なときこそ、『大きく変わる』ときだよ』と、かつて先輩の教員から教わったことがあります。今がまさにその時かもしれませんが、無限の可能性をもった子供たちが、ますますたくましく健やかに成長していきます。来年度も教職員一同、頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（栄南小学校長 柴田 由美子）

